

## 区民との意見交換会で出された主な意見

### 1 将来像 基本理念関連

分野	意見
将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な経済と環境を踏まえた大田区の将来像を考えたい。</li> <li>・ 大田区の駅周辺を将来的に夢のある地域にしたい。蒲田は犯罪のまち、汚いまちというイメージが強い。かつて「蒲田は東京の西の銀座」というキャッチフレーズもあった。</li> <li>・ 大田区は陸、海、空の要素がそろっており、23区の中で一番特徴がある。将来像では良いところをアピールして欲しい。人情、隣組の発達などの特性や、商業地区、住宅地区、工業地区を併せ持つ特性を良いイメージに結び付けたい。</li> </ul>
基本理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑、環境を区が区民と一緒にあってつくる必要がある。大田区の住みやすい環境は、住民がつくってきた環境である。</li> <li>・ 区民が希望することは、安全・安心である。</li> <li>・ 基本理念のフレーズ案に「責任ある区民」「責任ある行動」という言葉があり、自己責任が強調されている。力のない人、弱い人が阻害される社会になるのではないかと心配する。</li> <li>・ 女性でも男性でも高齢者でも若者でもみんなが支え合うようなまちづくりを望みたい。</li> <li>・ 区民参加・参画を保証する仕組みを理念の中で表現して欲しい。</li> <li>・ 区民が頑張れというイメージを受ける。大田区は何をするのだろうか。</li> <li>・ 若者の雇用を守るという項目が見あたらない。産業のまち大田区として、基本理念の最初に、区民の健康や生活を区が守ることが最初にあるべきではないか。</li> <li>・ 基本的な考え方の中に、スポーツの役割、考え方が入っていない。スポーツの視点によるまちづくりや、地域力の活かし方の一つのソフトとしてのスポーツを検討して欲しい。</li> <li>・ 「責任」は市場原理を重視するニューパブリックマネジメントの考え方ではない。自己責任だから勝手にやれと受け取られない工夫が必要。</li> </ul>

## 2 第1専門部会関連

分野	意見
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大森西口の開発の方向性について知恵を出して欲しい。</li> <li>・ 蒲田駅周辺のイメージが悪い。夢のある地域にしたい。</li> <li>・ 大田区は住民と一緒に頑張ってまちづくりをすることに積極的ではない。</li> <li>・ 事業者と区民との連携の中で、よりよいまちづくりを目指す関係ができるよう、しっかりとした体制にして欲しい。</li> <li>・ 景観や高さ制限に関する取り組みをお願いしたい。</li> <li>・ 緑がなくならないような方策を立てることが必要。</li> <li>・ まちなかの公園についても位置付けて欲しい。</li> <li>・ 公有水面に関しては区は何もできないのではないか。</li> <li>・ 自転車利用を推進すると駐輪の問題があり、歩きづらくなる。</li> <li>・ バリアフリーの中で障がい者に関する具体的記述がない。</li> <li>・ 防災についてインフラも含め検討し、文言を入れて欲しい。</li> <li>・ 災害時の施設の役割が話し合われているか。</li> <li>・ 羽田空港は避難所であるが、実質的に機能するのが不安。</li> <li>・ 地震で倒れない家を造ることが先決。</li> <li>・ 商店や公園を中心としたコミュニティづくりが犯罪抑止にもつながる。</li> <li>・ 高齢者の移動に配慮し、地域の商店街を核にコミュニティバスを走らせてはどうか。バスを中心とした地域交通システムを。</li> </ul>
羽田・臨海部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 首都圏第三空港ができた後の羽田の活用を検討する必要がある。</li> <li>・ 第4滑走路整備後は左旋回は取りやめてもらいたい。</li> <li>・ 羽田国際化の成果が大田区にもたらされるように考えて欲しい。</li> <li>・ 空港跡地は使わずに保持するという考え方もある。</li> <li>・ 羽田跡地に世界に平和のメッセージを発信する資料館を整備したい。</li> <li>・ 羽田空港整備の背景には強制退去させられた住民がいる。そうした歴史的事実を検証して頂きたい。</li> <li>・ 市民に親しまれる空港という視点も大事。</li> <li>・ 羽田跡地は森林にして、樹木葬ができる場所にしてはどうか。</li> <li>・ 羽田跡地やウォーターフロントにスポーツの概念を入れて欲しい。</li> <li>・ 空港アクセスについてもっと真剣に討議して欲しい。</li> <li>・ 在住外国人から日本のルールがどうなっているのか聞かれる。</li> </ul>
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界に誇れる技術を持った大田区ということ、区民も共有したい。</li> <li>・ 商店街内に高齢者や子育て中の母親の居場所づくりができないか。</li> <li>・ 商業地区・工業地区・住宅地区を併せもつ良さをアピールしたい。</li> </ul>

### 3 第2専門部会関連

分野	意見
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚労省の「こんにちは赤ちゃん事業」を大田区でも積極的に実施して欲しい。</li> <li>・ 子育て中の母親が気軽に出かけられる「居場所」が必要。</li> <li>・ 家庭教育についてのサポートも必要。</li> <li>・ 学童保育の職員数が少ない。保育料の値上げが負担。</li> <li>・ 子どもの居場所づくりが大事。</li> <li>・ ボランティアに積極的に係わる母親が増えてほしい。</li> <li>・ 新生児保育の不足。保育園の拡充を期待したい。</li> </ul>
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勉強の遅れや家庭の問題を抱える子どもに手を差し伸べるために、行き届いた教育をしていけるという展望を高くうたい上げて欲しい。</li> <li>・ 特別支援教育法が施行され、コーディネーターの教育が開始されて間もない。大田区に配置するコーディネーターの研修は区でも独自に進めていただきたい。</li> <li>・ 教師の質的な向上のためには時間も必要であることを理解いただきたい。これに逆行する都の動きをどうみているか。区は今後20年間を想定し、区民の子どもを守るという姿勢で臨んで欲しい。</li> <li>・ 学校教育については、特色のある施策を希望。杉並区の和田中のような発想が必要である。</li> </ul>
障がい者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がいのタイプによって問題は違う。すべての障がい者が公平に扱っていただけるように各団体から（審議会）代表を出していただきたい。</li> <li>・ 「災害弱者」について、障がい者として、高齢者と区別して取り上げて欲しい。</li> <li>・ 難聴者が困ったときに相談するところがない。要約筆記に用いるOHPの機械が区のすべての施設にあるわけではなく、利用料も高い。意見を交換する手段もなく、引きこもる障がい者を減らしたい。</li> </ul>
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域が崩壊寸前にあるなかで、高齢者の対策、心の救済をどうするか。</li> <li>・ 孤立する高齢者に対していかに支援の手を差し伸べるか。介護認定4、5の人の受入先の拡充。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアに係る負荷が大きくなって、運営が難しくなる場合がある。区の職員がコーディネートするというよりは、専門のコーディネーターなどを受け入れていくべき。</li> <li>・ 健康増進、情操教育面などでスポーツの振興は大事。</li> </ul>

#### 4 第3専門部会関連

分野	意見
環境対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多摩川沿いの緑がなくならないような方策を立てることが必要。小さな公園をまとめて大きい公園にする、民有地の緑と連携してまとまった緑を確保する、という視点を盛り込んでほしい。</li> <li>・ 自給自足の社会を都市づくりのなかで創造することが望まれる。</li> <li>・ 食料自給率4割、石油もいずれ枯渇することが頭の中に入って議論しているのか。</li> </ul>
協働の体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーディネートがキーワード。役所に頼るというより、区民の専門家に協力してもらえる体制が必要。</li> <li>・ 行政に任せきりにせずに、専門家を受け入れていくべき。</li> <li>・ 区職員が横の連絡を密にして、定期的に会合し、(異動時は)新しい部署で対応できるようにするべき。</li> <li>・ 区職員も地域に帰れば区民。周りの人に指導いただき、意思疎通ができるように。</li> <li>・ わがまち大田推進協議会は上手く機能している。今後も地域として協力は惜しまないので発展していったら欲しい。</li> </ul>
自治能力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マンション住民の自治力向上を図り、全体的な地域の防災やまちづくり体制と連携が取れるまちに。</li> <li>・ 「地域力」=コミュニティ・パワーは崩壊寸前。役員のなり手がいない。この現実にメスを入れていただきたい。</li> <li>・ 参加を促すため、透明性、中立性に納得できるようにする必要がある。自治会、町会の情報が見られるような体制づくりを。</li> <li>・ 自治会、町会を制度的に位置づけることが必要。特に、大型マンションの住民を町会に帰属させるという規約を盛り込んで欲しい。</li> </ul>
外国人向けの対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在住外国人が納得しやすいまちづくりを。</li> </ul>